

【普通徴収切替理由書の記入提出要領】

- 1 普通徴収切替理由書は、普通徴収を認める基準（普A～普F）を示すものです。
- 2 普通徴収を認める基準に該当し、普通徴収に切り替える方がいる場合は、該当する理由の右側「人数」欄に人数を記入し、符号（普A～普F）を摘要欄に記載した給与支払報告書と併せて提出してください。
- 3 普通徴収に該当する方がいる場合は、普通徴収の方の個人別明細書の前に挿入し、総括表や他の個人別明細書と合冊して提出してください。
- 4 e L T A Xまたは光ディスク等による給与支払報告書提出の場合は、普通徴収に切り替える受給者の個人別明細書の普通徴収欄にチェックの上、摘要欄に符号を必ず入力してください。

<提出時の綴り方>



普通徴収切替理由書

市町村名	美 浦 村	指定番号
給与支払者の氏名又は名称		
符号	普通徴収切替理由	人数
普A	総従業員数が2人以下 (下記「普B」～「普F」に該当するすべての(他市区町村分を含む)従業員数を差し引いた人数)	人
普B	他の事業所で特別徴収(例:乙欄該当者など)	人
普C	給与が少なく税額が引けない(例:年間の給与支給額が9.3万円以下)	人
普D	給与の支払が不定期(例:給与の支払が毎月でない)	人
普E	事業専従者(個人事業主のみ対象)	人
普F	退職者又は退職予定者(5月末日まで)及び休職者	人
	合 計	人

○普通徴収とする場合は、個人別明細書の摘要欄に該当する符号(普A、普Bなど)を記入してください。

○この普通徴収切替理由書の提出がない場合、原則どおり、特別徴収対象者となります。

○符号「普F」の休職者とは、休職により4月1日現在で給与の支払いを受けていない場合に限りません。